



学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」  
校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

### チーム郡 思いを力に!

R 6. 2. 13 発行 文責 校長 松崎大樹

## 今季節になると、生徒のみなさんに伝えたい ある染織家が語っていた「桜染め」の話 今年もご一読下さい!!

ある染織家が語っていた話です。春の代表的な花といえば桜ですが、この桜を用いた染め物に「桜染め」というものがあるそうです。しかし、この「桜染め」は、桜の花びらから色を取り出すのではなく、桜の木の皮を煮て桜色に染めていくものだそうです。しかも、桜の花が咲く直前の木の皮で染めると、とても美しいピンク色に染まるということも学ぶことができました。

桜の木の皮の表面は、どちらかといえば、黒っぽくてごつごつしています。しかし、桜は、つぼみが咲き終わるとすぐに次のつぼみができてきて、特に寒い冬の間、このつぼみのピンク色が桜の木の中で熟成されるのだそうです。

そして、木の皮の内側もピンク色になり、さらには木全体を桜色に染めながら開花の準備をしていくのだそうです。

つまり、桜の木の先端に咲くあの美しい花を、幹も枝も樹液も木全体がピンク色に染めて支えているのです。

このように春を待つ桜が、美しい花を咲かせるために、木全体がピンク色に染まり開花を待っていることを知り、改めて、自然の力の凄さ・不思議さというものを感ずることができました。

また、春を待つ桜が、春の開花に向けて、寒い冬の間も休むことなく動き続けていることを知り、やはり「物事を成し遂げるには、継続して取り組むことが大切。」という思いを強くした次第でした。

さて、春の新しい生活に向けての「0学期」。春に向かって咲こうとしている皆さんは、今どんな色の花を咲かそうとしているのでしょうか。春はもうすぐです。美しい花を咲かせるためにも、「今、何に継続して取り組まないといけないのか?」ということをしっかり考えながら、卒業までの日々を、そして、残された3学期を有意義に過ごしていきましょう。

春に咲く、生徒の皆さん一人一人の美しい花を楽しみにしています…。 校長より



## 「時を待つ心」 松下幸之助 (※一部抜粋)

わるい時がすぎれば、よい時は必ず来る。  
あせらずあわてず、静かに時の来るのを待つ。  
時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう。  
だが何もせず待つことは僥倖(ぎょうこう)を待つに等しい。  
静かに春を待つ桜は、一瞬の休みもなく力をたくわえている。  
たくわえられた力がなければ、時が来ても成就しないであろう。



※ 僥倖(ぎょうこう)とは…思いがけない幸せのこと。転じて、なかなか自分におとずれない幸せのこと。

チーム郡 思いを力に! (2月第3週の言葉)



松下 幸之助

(まつした こうのすけ)

1894~1989 94歳で亡くなる。日本の実業家、発明家、著述家。パナソニック(旧社名:松下電器器具製作所、松下電器製作所、松下電器産業)を一代で築き上げた経営者。異名は「経営の神様」。その他、PHP研究所を設立して倫理教育や出版活動に乗り出す。さらに晩年は松下政経塾を立ち上げ、政治家の育成にも意を注いだ。

## 郡中学校 第78代生徒会スローガン決まる! ご紹介させていただきます。

### 第78代生徒会スローガン

# 色彩皆花 色彩皆花

第78代生徒会の新しいスローガンは「色彩皆花」(しきさいいか)です。

「色彩」は、生徒一人一人がもっているそれぞれの大切な個性や能力のことを表しています。また、「皆花」には、この郡中学校で生徒一人一人が仲間と共に切磋琢磨してゆく中で、自分自身の個性や能力が成長し、花が開くようにという願いが込められています。

生徒全員の個性や能力の花が開き、学校生活が彩りをもってより豊かになるように、生徒会活動をこの「色彩皆花」のスローガンのもと頑張っていきたいと思っています。生徒のみなさんも生徒会会員の一人であるという自覚をもって、しっかり協力してください。よろしく願います。

第78代生徒会長 村上 駿

能登半島地震の被災者の方々への義援金のご協力、誠にありがとうございました。



2月9日(金) 生徒・職員の皆様からお預かりした義援金を、能登半島地震の被災者の方々へ、日本赤十字社長崎支部を通して、35,956円届けることができました。心より感謝申し上げます。

# 社会に開かれた教育課程の実現に向けて・・・地域と学校の連携・協働を推進する中で、 1年生総合的な学習の時間「職業講話」を開催しました！

「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められている資質・能力を生徒達に育むという「社会に開かれた教育課程」という考え方は、とても重要なことだと思います。そこで、郡中学校では、カリキュラム・マネジメントの手法を積極的に取り入れ、地域と学校の連携・協働の推進を図りながら「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しており、その一環として1年生総合的な学習の時間「職業講話」を開催しました。この「職業講話」では、「生徒が将来のライフプランを考え、検討することを通じて、自己理解と職業選択の基礎を築く」という目的を達成するために、下記に示す10事業所でご勤務される講師の方々を2日間にわたってお招きし、生徒に対して直接対面形式で、様々な話をさせていただきました。その中では、講師の皆様は、現在の仕事に就くまでの経緯や現在の仕事に対する熱い思い、そして、これからの夢や展望を聞かせていただき、生徒達はより多くの実りある学びを得ることができたと思っています。下記に、ご協力いただいた講師の方々のご紹介と生徒達の振り返りを掲載しています。ご一読ください。

| 1月29日(月) 6校時 |                                            | 1月31日(水) 6校時 |                                 |
|--------------|--------------------------------------------|--------------|---------------------------------|
| 1年1組教室       | 指方 宏彰 様<br>(指方工務店)                         | 1年1組教室       | 中村 康祐 様<br>(ナカムラ消防化学)           |
| 1年3組教室       | 徳永 靖之 様<br>(障がい者支援施設 常明園)                  | 1年3組教室       | 木下 紗菜栄 様<br>(ウォーターメイツ・スイミングクラブ) |
| 1年5組教室       | 藤本 力 様<br>(藤本石工)                           | 1年5組教室       | 本澤 崇 様<br>(本澤崇設計事務所)            |
| 1年6組教室       | 岩永 貴彦 様<br>(AIGパートナーズ・保険業)                 | 1年7組教室       | 富永 望 様<br>(イルロスパッチョ)            |
| 1年7組教室       | 金原 由納 様<br>(5Sコンシェルジュきれいなおへや<br>=整理整頓の専門家) | 美術A教室        | 松田 敦子 様<br>(保育士)                |



講師の先生方の仕事に対する熱い思い、そして、生徒達への温かいメッセージに深く感謝します。

## 生徒の感想から

- 職業やなりたいもの、したいことがなくてもいつか見つかるし、昔の自分が今の自分の助けになることもあるから今のうちに沢山の経験をしておきたいと思った。
- 学生生活は遊びまくる。 ○自分の人生の参考にしていきたい。
- 自分の部屋やロッカーを常に整理したい。
- 自分の中で目標を立てて少しでも努力し、その目標に一步でも近づこうと思いました。
- 将来、先生になるために、挑戦・頑張ることは大切だということを考えながら頑張る。
- 私の夢は保育士になりたいので、松田さんが話してくださった子どもたちの毎日の記録等のように、決して楽でないものも多いと思うので、普段からすぐにあきらめずに、努力しているんなことに挑戦していきたいです。
- 僕は自分だけのためではなく、僕は周りの人のために動くという意識をして行動するなど人のためになるような行動を取りたいと思いました。そのため、周りのことをよく観察していきたい
- 自分がなりたいと思った職業などの資格をとる・理解を深めるために海外へ勉強に行ったり、今自分がいる場所にとどまったりせず、もっと視野を広げていきたい。
- どんな仕事でもやっぱりやりがいというのはあると改めて感じたので、将来自分がどんな仕事についても自分なりのやりがいを持って過ごしていこうと思いました。ですが、できる限り自分の好きなことをやっぱりしたいので悔いのないように勉強などを頑張っていこうと思いました。

